

第12回沖縄県教育委員会会議（臨時会）

1 日時 平成21年7月22日 15時00分～ 15時25分

2 場所 教育庁第一会議室

3 出席者

委員	<p style="margin: 0;">比嘉 委員 (委員長)</p> <p style="margin: 0;">鎌田 委員</p> <p style="margin: 0;">東 委員</p> <p style="margin: 0;">安次嶺 委員</p> <p style="margin: 0;">中野 委員</p> <p style="margin: 0;">金武 委員 (教育長)</p>	(欠席委員)
教育 庁	統括監等	教育管理統括監、参事
	課長及び 班 長 等	総務課長 財務課長 施設課長 福利課長 県立学校教育課長 義務教育課長 保健体育課長 生涯学習振興課長 文化課長 全国高校総体推進課長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課教育企画監 総務課副参事兼総務班班長 総務課総務班主査 県立学校教育課指導主事
<p>4 傍聴した者</p> <p style="margin-left: 40px;">記者 3 人</p>		

平成 21 年第 12 回県教育委員会会議(臨時会)

開会 (15:00)

委員長	<p>それでは、ただ今から平成21年第12回県教育委員会会議臨時会を開催します。</p> <p>はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>今回、会議録署名人は、中野委員にお願いします。</p>
中野委員	はい。
委員長	次に教育長報告をお願いします。
教育長	今回は、教育長報告はございません。
委員長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>本日の議題は、議案が3件となっております。</p> <p>それでは、議案第1号の説明をお願いします。</p>
総務課長	(議案について説明)
委員長	それでは、ご質疑ございますでしょうか。
東委員	<p>質問ではなく、意見。</p> <p>去年から各県においてもこの点検・評価が実施されている。最初は手探りの状態だったと思うが、今年は他県の状況も出てきたので、状況がわかるようになった。</p> <p>要綱の中に「県民の意見の反映」とあるように、目的は県民にわかりやすく、客観的に評価してもらうということだと思う。</p> <p>今回は2回目になって、教育委員一人ひとりの意見が大分反映されている。特に学識経験者の知見の活用については、ほぼ教育委員の推薦した方たちを採用しているので、民間の知見も入っていいものになるのではないかと期待している。</p> <p>効率的、効果的に教育行政を進めるとというのが趣旨だと思う。この要綱をもとに点検・評価し、どんどん改善してほしい。</p>
委員長	<p>ほかに御質疑はございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p> <p>この点検・評価も2年目に入って、教育委員が主体的に参加すること</p>

	<p>ができてきた。我々が責任を持って頑張らなければならないと気持ちを新たにしている。そして、県民にわかりやすく公表することで、実施している事業の改善のために、たくさんの人の知恵を借り、子どもたちのためになるより良い教育行政にしていくのが、この点検・評価の意義だと思う。</p> <p>今年、新たなチャレンジとして、みんなでやっていきたい。それでは、このとおりに決定してよいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>それでは、このとおりに決定します。</p> <p>次に議案第2号の説明をお願いします。</p>
県立課長	(議案について説明)
委員長	それでは、御質疑ございますでしょうか。
安次嶺委員	南部農林高等学校については、6学科から5学科になり、名称も全て変わっている。それぞれの学科の間でかなり整理統合があるのか。
県立課長	<p>基本的には、現状を維持しながら新たな道筋をつけてまいります。</p> <p>現行の6学科6クラスを5学科5クラスに変更することにつきましては、5つのポイントに基づいております。</p> <p>1点目、農業自営と深く関連した学科をひとつにまとめたのが食料生産科となります。</p> <p>2点目、農業の先端技術を生かして、地域農業資源の保全等について調べる学科として、生物資源科となります。</p> <p>3点目、発酵食品を含む、郷土の食品に目を向けた学科が、食品加工科となります。</p> <p>4点目、環境の創造とともにその保全及び分析等について学べる学科が環境創造科となります。</p> <p>5点目、教科農業と家庭科を融合した学科が、生活デザイン科となります。</p> <p>長期に渡って議論した結果、この5科の形となっております。</p>
安次嶺委員	たいへん結構なことだと思うが、新しいカリキュラムを組むにあたって、教員の対応はどうか。新しい学科内容に向けて勉強するなどしたのか。従来からいる教員ですぐに対応できるのか、あるいは新たな教員を配置するのか。
県立課長	基本的には現在の教員で対応しますが、当然、勉強して新しい学科に対応する努力は必要になります。そこに対応できる職員がいなければ、

	他の農林高等学校からの異動で対応することになります。
安次嶺委員	食品加工科では、沖縄の地域の発酵食品とかいう話があったが、沖縄独特の、よそではできないようなものが沖縄でできるというものがきつとあると思うので、しっかりとそういう特色が出る形になることを期待する。
県立課長	しっかりと勉強してそのようにしたいと思います。
委員長	ほかに御質疑ございませんか。 (しばし間があり) 安次嶺委員から「沖縄らしいものを」という意見があったが、そのほかにも、子どもたちが学んだ知識や技術が就職に有利になり、仕事で活かされるように社会のニーズに対応したものにしてほしい。 今回、こうして大きく変わることになるが、いい方向に行くようにしてほしい。 それでは、このとおり決定してよいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	それでは、このとおり決定します。 次に議案第3号の説明をお願いします。
県立課長	(議案について説明)
委員長	それでは、御質疑ございますでしょうか。 (しばし間があり) それでは、この形で子どもたちが頑張ってくれることを願いつつ、このとおり決定してよいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	それでは、このとおり決定します。これで、本日の議案は全て終了しました。 終わる前に一言。今回、新聞でいろいろな問題が指摘された。マスコミの皆さんに言われて見えてくる課題もあるかと思う。問題が浮き彫りになるということは、それをどうしたらいいのかということを見直すチャンスでもあると思う。 今回問題となった、懲戒の基準、公開の基準、マスコミに対する公開

の方法については、教育委員会全体で検討してはどうかと、先ほど各委員の皆さんとも話をした。

情報公開、個人情報の保護、それぞれ条例に則ってどうするかということもあるが、教育委員会の場合、児童・生徒に対する配慮が必要。

子どもたちを健全に育成するということが、そもそもの教育委員会の大きな役割。その中でどうしていくのか。教育委員会としての明確な基準というものを見直すいいチャンスかもしれないと思う。多面的に検討してほしいし、検討していきたいと思う。

では、本日の日程は全て終了しましたので、これで閉会します。

ありがとうございました。